

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	創造社デザイン専門学校
設置者名	学校法人 創造社学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
デザイン 専門課程	コトづくり学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	モノづくり学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	ビジュアルデザイン学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	産業デザイン学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
デザイン 専門課程	コトづくり学科	夜・通信	180 時間	90 時間	
	モノづくり学科	夜・通信	180 時間	90 時間	
	ビジュアルデザイン学科	夜・通信	180 時間	90 時間	
	産業デザイン学科	夜・通信	180 時間	90 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>ホームページ（情報公開ページ）「実務経験のある教員等による授業科目一覧」学科別にて公開</p> <p>【情報公開 URL】 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/">https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/</a></p> <p>■ 「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」 URL  <a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/jyugyoukamoku.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/jyugyoukamoku.pdf</a></p> <p>■ 「実務経験のある教員一覧」 URL  <a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/teacher.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/teacher.pdf</a></p>
---

### 3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由) 特に無し

### 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	創造社デザイン専門学校
設置者名	学校法人 創造社学園

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ（情報公開ページ） 「役員名簿一覧」 （外部理事を含む）にて公開  【情報公開 URL】 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/">https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/</a>  URL：「役員名簿一覧」URL <a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/yakuin.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/yakuin.pdf</a>
--

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 専務取締役 (在職期間 H20. 4. 1～現在に至る)	4年 H27. 7. 30～ R6. 7. 6	企業経営者として 経営に関する幅広い 経験と知見。
非常勤	前職又は現職、無し	4年 S58. 4. 15～ R6. 7. 6	学校運営の豊富な 経験値から適切な 意見。
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	創造社デザイン専門学校
設置者名	学校法人 創造社学園

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	創造社デザイン専門学校
設置者名	学校法人 創造社学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各学科の目的及び教育改革戦略会議(本学園設置)の目標を踏まえ、企業等連携組織「教科課程編成委員会」でも多角的な学識・知見より、必要となる専門能力や新たな課題等を抽出し、それらを学則・教科課程に落とし込み、その実践や学生の成果物から得る客観的な評価をフィードバックし活用する好循環型のシステムで教科課程(授業科目)の改定・変更・改善を行っております。</p> <p>1. 教科課程編成は、「教科課程編成委員会」で①企業、社会が必要とする人材像の明確化 ②実務ニーズに適合した知識や技術、技能に有用な内容③客観評価・ニーズ・シーズ調査結果から分析した改善事項等をまとめ「専門分野の知識・技術・技能コンピテンシー」策定しています。</p> <p>2. 「学科別専門分野の知識・技術・技能コンピテンシー」及び「カリキュラム・ポリシー」を基に、授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を記載した「授業計画(シラバス設計要求書)」に落とし込みそれを組織決定します。</p> <p>3. 「授業計画(シラバス設計要求書)」に基づき、担当教員が詳細なカリキュラム「教科計画書・指導計画書」に落とし込み、学生への配布及びカリキュラム内容のインフォームドコンセント(科目オリエン)を行い授業を実施、及びその成果の評価する。</p> <p>「授業計画(シラバス設計要求書)」の公表は、ホームページ上で全学科の授業計画書(科目名、科目概要、単位数・開講時期、指導方法、テーマ・課題与件、到達目標、成績、評価基準)を公表し、又、学校案内書にも全科目の概要を掲載し、本校の教育内容を全ステークホルダーに理解してもらうように努めております。(公表時期：毎年4月初旬)</p> <p>学生には授業開始前にWEB上からダウンロードできるようにしている。</p>

<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページ（情報公開ページ） 「全学科・授業計画一覧」「カリキュラムポリシー」にて公開及び学生へ配布</p> <p>【情報公開 URL】  <a href="https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/">https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/</a></p> <p>■「授業計画書一覧（シラバス設計要求書） URL  ○コトづくり学科（昼間部・夜間部）  ○モノづくり学科（昼間部・夜間部）  ○ビジュアルデザイン学科（昼間部・夜間部）  ○産業デザイン学科（昼間部・夜間部）</p> <p><a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/syllabus_all.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/syllabus_all.pdf</a></p> <p>■「カリキュラムポリシー」 URL  <a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/cp.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/cp.pdf</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>全学科・全科目にシラバス「教科計画書・指導計画書」に評価基準・評価方法・試験容態・スケジュールを明示し、科目毎のオリエンテーションを実施し、学生とのインフォームドコンセントを図っております。 評価については、科目に設定される評価基準に基づき担当講師が評価を行い、その評価の確認を行い単位を認定しています。 また、次の学習に繋げてもらう目的で、試験点数だけでなく詳細な評価コメントも付記し学生へのフィードバックを行っております。</p> <p>上記とは別に、「進級・卒業制作」においては、第三者（業界）の審査員を含め、客観的な評価が出来るような仕組みや、成績評価後に学生から疑義に対応する制度も導入して公正な単位付与を実施しております。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価 (単位認定: GPA 制度に基づく評価基準)

各科目に定める評価基準に基づき、基準を満たした科目を合格とし単位付与する。

■成績評価基準

出席率	試験点数	成績評価	GPAポイント (※2)	合否	判定内容
2/3 以上かつ各科目に定められた出席必要回数	100～90 点	優	5 ポイント	合格 (単位認定)	各科目に定める 3 つの能力評価要素 (※1) の評価 (100 点満点) を行い、60 点以上を満たしました者に対して単位を認定する。
	89～80 点	秀	4 ポイント		
	79～70 点	良	3 ポイント		
	69～60 点	可	2 ポイント		
	59～0	不可		不合格	

(※1) 評価する能力評価要素区分「知識・認識力」「調査・分析力」「材料・用具使用力」「企画・構成力」「提案・説得力」 ○各科目の到達目標に照らして、3つの能力要素の評価を行う。

(※2) GPA 基準は、必須科目・必須選択目の短期取得科目の評価を数値化し、単位取得科目数の平均値を算出する。又、成績の出ない科目 (認定科目) の場合、GPA 評価対象外となる。(例) 工房実習 等)

・単位認定、単位取得状況及び GPA 値は「成績通知表」にて、各学期毎に、本人及び学費負担者に郵送

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

ホームページ (情報公開ページ)「卒業認定、単位認定・GPA 基準」にて公開及び学生は「就学の手引き」にて配布

【情報公開 URL】

<https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/>

URL: 「卒業認定、単位認定・GPA 基準」

<https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/GPA.pdf>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校の卒業判定は、各学科に定める所定の単位数を習得するとともに、各学科に定める「ディプロマ・ポリシー」に基づく能力を満たした者に対して卒業を認定します。</p> <p><u>1. 卒業認定基準</u></p> <p>次の各号を満たした者に卒業を認め、別記様式による卒業証書を交付する (学則 16 条)</p> <p>(1) 本校の卒業生に相応しい者。 (2) 以下2に定める所定の単位を取得した者。 (3) 学費などの納付など学生としての義務を履行した者。</p> <p><u>2. 学科毎に定める卒業に必要な単位</u></p> <p>(1) コトづくり学科(昼間部、夜間部)及びモノづくり学科(昼間部、夜間部)の学生の内、所定の方法で70単位以上(1,700時間以上の学修)の単位を取得した者。 (2) ビジュアルデザイン学科(昼間部、夜間部)及び産業デザイン学科(昼間部、夜間部)の学生の内、所定の方法で54単位以上(1,600時間以上の学修)の単位を取得した者。</p> <p>「卒業認定基準」「ディプロマポリシー」の公表については、ホームページ(情報公開ページ)掲載している他、学校案内書にも「ディプロマポリシー」掲載し、本校ステークホルダー全体に公表しております。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ(情報公開ページ)「卒業認定、単位認定・GPA基準」「ディプロマポリシー」を公開及び学生へ配布</p> <p>【情報公開 URL】  <a href="https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/">https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/</a></p> <p>URL : 「卒業認定、単位認定・GPA 基準」  <a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/GPA.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/GPA.pdf</a></p> <p>URL : 「ディプロマポリシー」  <a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/dp.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/dp.pdf</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	創造社デザイン専門学校
設置者名	学校法人 創造社学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ情報公開ページに掲載 【情報公開 URL】 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/">https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/</a>  URL : 「財務情報」 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/zaimu.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/zaimu.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページ情報公開ページに掲載 【情報公開 URL】 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/">https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/</a>  URL : 「財務情報」 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/zaimu.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/zaimu.pdf</a>
財産目録	ホームページ情報公開ページに掲載 【情報公開 URL】 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/">https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/</a>  URL : 「財務情報」 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/zaimu.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/zaimu.pdf</a>
事業報告書	ホームページ情報公開ページに掲載 【情報公開 URL】 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/">https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/</a>  URL : 「事業報告書」 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/jigyuu.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/jigyuu.pdf</a>
監事による監査報告（書）	ホームページ情報公開ページに掲載 【情報公開 URL】 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/">https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/</a>  URL : 「監査報告書」 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/kansa_2021.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/kansa_2021.pdf</a>



## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報 「コトづくり学科」(昼間部)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン 専門課程	コトづくり学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間 以上/単位	90 単位時間 /単位	1440 単位時間 /単位	1320 単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			2850 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		22人	0人	7人	46人	53人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要) 年間 35 単位分の授業 (850 時間以上) 基本週 5 日 授業開講時間 10:00~17:00 年間 48 週の授業期間 (休暇 4 週) 3 学期制 (前期・後期・進級・卒業制作期・学期 5 週×3 又は 2 クール制)					
成績評価の基準・方法					
(概要) 成績評価は、履修する科目に定める評価基準に基づき、その基準を満たした科目を合格とし単位付与する。					
■成績評価基準					
出席率	試験点数	成績 評価	GPAポイント (※2)	合否	判定内容
2/3 以上か つ各科目に 定められた 出席必要回 数	100~90 点	優	5 ポイント	合格 (単位 認定)	各科目に定める 3 つの 能力評価要素 (※1) の評 価 (100 点満点) を行い、 60 点以上を満たしまし た者に対して単位を認 定する。
	89~80 点	秀	4 ポイント		
	79~70 点	良	3 ポイント		
	69~60 点	可	2 ポイント		
	59~0	不可		不合格	
(※1) 能力評価要素「知識・認識力」「調査・分析力」「材料・用具使用力」「企画・構成力」「提案・説得力」					
卒業・進級の認定基準					
(概要) 本校の卒業判定は、各学科に定める所定の単位数を習得するとともに、各学科に定める「ディプロマ・ポリシー」に基づく能力を満たした者に対して卒業を認定します。					
1. 卒業認定基準 次の各号を満たした者に卒業を認め、別記様式による卒業証書を交付する					

<p>(学則 16 条)</p> <p>(1) 本校の卒業生に相応しい者。</p> <p>(2) 以下 2 に定める所定の単位を取得した者。</p> <p>(3) 学費などの納付など学生としての義務を履行した者。</p> <p>2. 当学科に定める卒業に必要な単位</p> <p>(1) コトづくり学科 (昼間部) の学生の内、所定の方法で 70 単位以上 (1,700 時間以上の学修) の単位を取得した者。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>専門 (業界・心理) キャリアカウンセラーによるカウンセリング。 学生達の諸問題 (授業、学費、履修等) を相談窓口の設置。長期・連続欠席者への電話連絡面談。障害者への個別支援対応など。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13 人 (100%)	0 人 (0%)	11 人 (84.6%)	2 人 (15.4%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>広告制作事務所、グラフィックデザイン事務所、WEB・映像制作会社、印刷・出版会社、商品開発会社、商業施設・イベント会社等</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>キャリアプログラム (学生個々の目指している企業への就職や、希望する業界・職種・仕事に就くためにナビゲートする就業支援の総合講座科目) を講師担任制の授業で実施。1 年次は次年度の就職活動の準備段階 (業界を知る・自分を知る) として、2 年次は本格的な就職活動を実施していくための授業で構成しています。</p>			
<p>(主な学修成果 (資格・検定等) )</p> <p>職業実践専門課程、専門士</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	0 人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学費、学習のモチベーションの低下、進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) ・通常授業のフォロー</p> <p>① 初回授業欠席者に対する連絡</p> <p>② 授業担当講師からの学生出席状況ヒアリング (朝礼・昼礼・夕礼時 1 日 3 回)</p> <p>③ 単位喪失者に対しての個別面談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の単位取得状況 (習熟度) を考慮した上での学習計画、履修相談</li> <li>・キャリアコンサルタントによる就職相談 (履歴書添削、模擬面接等も含む)</li> <li>・本校教員 (デザイナー) による個別面談 (進路相談、学習相談も含む)</li> <li>・学費の支払いが困難な学生に対しての支払い計画、学費相談</li> </ul>		

①学科等の情報 「モノづくり学科」(昼間部)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン 専門課程	モノづくり学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間 以上/単位	90 単位時間 /単位	1500 単位時間 /単位	1260 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2850 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		9人	0人	7人	46人	53人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要) 年間 35 単位分の授業 (850 時間以上) 基本週 5 日 授業開講時間 10:00~17:00 年間 48 週の授業期間 (休暇 4 週) 3 学期制 (前期・後期・進級・卒業制作期・学期 5 週×3 又は 2 クール制)					
成績評価の基準・方法					
(概要) 成績評価は、履修する科目に定める評価基準に基づき、その基準を満たした科目を合格とし単位付与する。					
■成績評価基準					
出席率	試験点数	成績 評価	GPAポイント (※2)	可否	判定内容
2/3 以上か つ各科目に 定められた 出席必要回 数	100~90 点	優	5 ポイント	合格 (単位 認定)	各科目に定める 3 つの 能力評価要素 (※1) の評 価 (100 点満点) を行い、 60 点以上を満たしまし た者に対して単位を認 定する。
	89~80 点	秀	4 ポイント		
	79~70 点	良	3 ポイント		
	69~60 点	可	2 ポイント		
	59~0	不可		不合格	
(※1) 能力評価要素「知識・認識力」「調査・分析力」「材料・用具使用力」「企画・構成力」「提案・説得力」					
卒業・進級の認定基準					
(概要) 本校の卒業判定は、各学科に定める所定の単位数を習得するとともに、各学科に定める「ディプロマ・ポリシー」に基づく能力を満たした者に対して卒業を認定します。					
1. 卒業認定基準					
次の各号を満たした者に卒業を認め、別記様式による卒業証書を交付する (学則 16 条)					
(1) 本校の卒業生に相応しい者。					
(2) 以下 2 に定める所定の単位を取得した者。					
(3) 学費などの納付など学生としての義務を履行した者。					

<p>2. 当学科に定める卒業に必要な単位</p> <p>(1) モノづくり学科(昼間部)の学生の内、所定の方法で70単位以上(1,700時間以上の学修)の単位を取得した者。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>専門(業界・心理)キャリアカウンセラーによるカウンセリング。学生達の諸問題(授業、学費、履修等)を相談窓口の設置。長期・連続欠席者への電話連絡面談。障害者への個別支援対応など。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	1人 (50%)	1人 (50%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>インテリアデザイン事務所、プロダクトデザイン事務所、建築設計事務所、住宅設備メーカー、商品メーカー、イベント企画制作事務所、商環境設計事務所等、家具・エクステリアメーカー等</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>キャリアプログラム(学生個々の目指している企業への就職や、希望する業界・職種・仕事に就くためにナビゲートする就業支援の総合講座科目)を講師担任制の授業で実施。1年次は次年度の就職活動の準備段階(業界を知る・自分を知る)として、2年次は本格的な就職活動を実施していくための授業で構成しています。</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>職業実践専門課程、専門士、商業施設士補</p>			
<p>(備考)(任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学費、学習のモチベーションの低下、進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) ・通常授業のフォロー</p> <p>① 初回授業欠席者に対する連絡</p> <p>② 授業担当講師からの学生出席状況ヒアリング(朝礼・昼礼・夕礼時1日3回)</p> <p>③ 単位喪失者に対しての個別面談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の単位取得状況(習熟度)を考慮した上での学習計画、履修相談</li> <li>・キャリアコンサルタントによる就職相談(履歴書添削、模擬面接等も含む)</li> <li>・本校教員(デザイナー)による個別面談(進路相談、学習相談も含む)</li> <li>・学費の支払いが困難な学生に対しての支払い計画、学費相談</li> </ul>		

①学科等の情報 「ビジュアルデザイン学科」(昼間部)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン 専門課程	ビジュアルデザイン 学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1600 単位時間 以上/単位	90 単位時間 /単位	1260 単位時間 /単位	1020 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2370 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		21人	3人	7人	46人	53人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要) 年間 27 単位分の授業 (800 時間以上) 基本週 5 日 授業開講時間 10:00~17:00 年間 48 週の授業期間 (休暇 4 週) 3 学期制 (前期・後期・進級・卒業制作期・学期 5 週×3 又は 2 クール制)					
成績評価の基準・方法					
(概要) 成績評価は、履修する科目に定める評価基準に基づき、その基準を満たした科目を合格とし単位付与する。 ■成績評価基準					
出席率	試験点数	成績 評価	GPAポイント (※2)	合否	判定内容
2/3 以上か つ各科目に 定められた 出席必要回 数	100~90 点	優	5 ポイント	合格 (単位 認定)	各科目に定める 3 つの 能力評価要素 (※1) の評 価 (100 点満点) を行い、 60 点以上を満たしまし た者に対して単位を認 定する。
	89~80 点	秀	4 ポイント		
	79~70 点	良	3 ポイント		
	69~60 点	可	2 ポイント		
	59~0	不可		不合格	
(※1) 能力評価要素「知識・認識力」「調査・分析力」「材料・用具使用力」「企画・構成員」「提案・説得力」					
卒業・進級の認定基準					
(概要) 本校の卒業判定は、各学科に定める所定の単位数を習得するとともに、各学科に定める「ディプロマ・ポリシー」に基づく能力を満たした者に対して卒業を認定します。					
1. 卒業認定基準 次の各号を満たした者に卒業を認め、別記様式による卒業証書を交付する (学則 16 条)					
(1) 本校の卒業生に相応しい者。					
(2) 以下 2 に定める所定の単位を取得した者。					
(3) 学費などの納付など学生としての義務を履行した者。					

<p>2. 当学科に定める卒業に必要な単位</p> <p>(1) ビジュアルデザイン学科(昼間部)の学生の内、所定の方法で 54 単位以上(1,600 時間以上の学修)の単位を取得した者。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>専門(業界・心理)キャリアカウンセラーによるカウンセリング。 学生達の諸問題(授業、学費、履修等)を相談窓口の設置。長期・連続欠席者への電話連絡面談。 障害者への個別支援対応など。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11 人 (100%)	0 人 (0%)	11 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
<p>広告制作事務所、グラフィックデザイン事務所、WEB・映像制作会社、印刷・出版会社、商品開発会社、商業施設・イベント会社等</p>			
(就職指導内容)			
<p>キャリアプログラム(学生個々の目指している企業への就職や、希望する業界・職種・仕事に就くためにナビゲートする就業支援の総合講座科目)を講師担任制の授業で実施。1 年次は次年度の就職活動の準備段階(業界を知る・自分を知る)として、2 年次は本格的な就職活動を実施していくための授業で構成しています。</p>			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29 人	5 人	17.2%
(中途退学の主な理由)		
学費、学習のモチベーションの低下、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・通常授業のフォロー		
<p>① 初回授業欠席者に対する連絡</p> <p>② 授業担当講師からの学生出席状況ヒアリング(朝礼・昼礼・夕礼時 1 日 3 回)</p> <p>③ 単位喪失者に対しての個別面談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の単位取得状況(習熟度)を考慮した上での学習計画、履修相談</li> <li>・キャリアコンサルタントによる就職相談(履歴書添削、模擬面接等も含む)</li> <li>・本校教員(デザイナー)による個別面談(進路相談、学習相談も含む)</li> <li>・学費の支払いが困難な学生に対しての支払い計画、学費相談</li> </ul>		

①学科等の情報 「産業デザイン学科」(昼間部)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン 専門課程	産業デザイン学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1600 単位時間 以上/単位	90 単位時間 /単位	1320 単位時間 /単位	960 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2370 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		1人	0人	7人	46人	53人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要) 年間 27 単位分の授業 (800 時間以上) 基本週 5 日 授業開講時間 10:00~17:00 年間 48 週の授業期間 (休暇 4 週) 3 学期制 (前期・後期・進級・卒業制作期・学期 5 週×3 又は 2 クール制)					
成績評価の基準・方法					
(概要) 成績評価は、履修する科目に定める評価基準に基づき、その基準を満たした科目を合格とし単位付与する。					
■成績評価基準					
出席率	試験点数	成績 評価	GPAポイント (※2)	可否	判定内容
2/3 以上か つ各科目に 定められた 出席必要回 数	100~90 点	優	5 ポイント	合格 (単位 認定)	各科目に定める 3 つの 能力評価要素 (※1) の評 価 (100 点満点) を行い、 60 点以上を満たしまし た者に対して単位を認 定する。
	89~80 点	秀	4 ポイント		
	79~70 点	良	3 ポイント		
	69~60 点	可	2 ポイント		
	59~0	不可		不合格	
(※1) 能力評価要素「知識・認識力」「調査・分析力」「材料・用具使用力」「企画・構成力」「提案・説得力」					
卒業・進級の認定基準					
(概要) 本校の卒業判定は、各学科に定める所定の単位数を習得するとともに、各学科に定める「ディプロマ・ポリシー」に基づく能力を満たした者に対して卒業を認定します。					
1. 卒業認定基準 次の各号を満たした者に卒業を認め、別記様式による卒業証書を交付する (学則 16 条)					
(1) 本校の卒業生に相応しい者。					
(2) 以下 2 に定める所定の単位を取得した者。					
(3) 学費などの納付など学生としての義務を履行した者。					

<p>2. 当学科に定める卒業に必要な単位</p> <p>(1) 産業デザイン学科(昼間部)の学生の内、所定の方法で54単位以上(1,600時間以上の学修)の単位を取得した者。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>専門(業界・心理)キャリアカウンセラーによるカウンセリング。学生達の諸問題(授業、学費、履修等)を相談窓口の設置。長期・連続欠席者への電話連絡面談。障害者への個別支援対応など。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	1人 (25%)	3人 (75%)	0人 (0%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>インテリアデザイン事務所、プロダクトデザイン事務所、建築設計事務所、住宅設備メーカー、商品メーカー、イベント企画制作事務所、商環境設計事務所等、家具・エクステリアメーカー等</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>キャリアプログラム(学生個々の目指している企業への就職や、希望する業界・職種・仕事に就くためにナビゲートする就業支援の総合講座科目)を講師担任制の授業で実施。1年次は次年度の就職活動の準備段階(業界を知る・自分を知る)として、2年次は本格的な就職活動を実施していくための授業で構成しています。</p>			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学費、学習のモチベーションの低下、進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) ・通常授業のフォロー</p> <p>① 初回授業欠席者に対する連絡</p> <p>② 授業担当講師からの学生出席状況ヒアリング(朝礼・昼礼・夕礼時1日3回)</p> <p>③ 単位喪失者に対しての個別面談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の単位取得状況(習熟度)を考慮した上での学習計画、履修相談</li> <li>・キャリアコンサルタントによる就職相談(履歴書添削、模擬面接等も含む)</li> <li>・本校教員(デザイナー)による個別面談(進路相談、学習相談も含む)</li> <li>・学費の支払いが困難な学生に対しての支払い計画、学費相談</li> </ul>		



①学科等の情報 「コトづくり学科」(夜間部)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン 専門課程	コトづくり学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1700 単位時間 以上/単位	90 単位時間 /単位	1440 単位時間 /単位	1320 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2850 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		12人	0人	7人	46人	53人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要) 年間 35 単位分の授業 (850 時間以上) 基本週 6 日 授業開講時間 18:00~21:00 年間 48 週の授業期間 (休暇 4 週) 3 学期制 (前期・後期・進級・卒業制作期・学期 5 週×3 又は 2 クール制)					
成績評価の基準・方法					
(概要) 成績評価は、履修する科目に定める評価基準に基づき、その基準を満たした科目を合格とし単位付与する。					
■成績評価基準					
出席率	試験点数	成績 評価	GPAポイント (※2)	可否	判定内容
2/3 以上か つ各科目に 定められた 出席必要回 数	100~90 点	優	5 ポイント	合格 (単位 認定)	各科目に定める 3 つの 能力評価要素 (※1) の評 価 (100 点満点) を行い、 60 点以上を満たしまし た者に対して単位を認 定する。
	89~80 点	秀	4 ポイント		
	79~70 点	良	3 ポイント		
	69~60 点	可	2 ポイント		
	59~0	不可		不合格	
(※1) 能力評価要素「知識・認識力」「調査・分析力」「材料・用具使用力」「企画・構成力」「提案・説得力」					
卒業・進級の認定基準					
(概要) 本校の卒業判定は、各学科に定める所定の単位数を習得するとともに、各学科に定める「ディプロマ・ポリシー」に基づく能力を満たした者に対して卒業を認定します。					
1. 卒業認定基準					
次の各号を満たした者に卒業を認め、別記様式による卒業証書を交付する (学則 16 条)					
(1) 本校の卒業生に相応しい者。					
(2) 以下 2 に定める所定の単位を取得した者。					

(3) 学費などの納付など学生としての義務を履行した者。
<u>2. 当学科に定める卒業に必要な単位</u>
(1) コトづくり学科(夜間部)の学生の内、所定の方法で70単位以上(1,700時間以上の学修)の単位を取得した者。
学修支援等
(概要) 専門(業界・心理)キャリアカウンセラーによるカウンセリング。学生達の諸問題(授業、学費、履修等)を相談窓口の設置。長期・連続欠席者への電話連絡面談。障害者への個別支援対応など。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 広告制作事務所、グラフィックデザイン事務所、WEB・映像制作会社、印刷・出版会社、商品開発会社、商業施設・イベント会社等			
(就職指導内容) キャリアプログラム(学生個々の目指している企業への就職や、希望する業界・職種・仕事に就くためにナビゲートする就業支援の総合講座科目)を講師担任制の授業で実施。1年次は次年度の就職活動の準備段階(業界を知る・自分を知る)として、2年次は本格的な就職活動を実施していくための授業で構成しています。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 職業実践専門課程、専門士			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 学費、学習のモチベーションの低下、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・通常授業のフォロー		
① 初回授業欠席者に対する連絡		
② 授業担当講師からの学生出席状況ヒアリング(朝礼・昼礼・夕礼時1日3回)		
③ 単位喪失者に対しての個別面談の実施		
・学生の単位取得状況(習熟度)を考慮した上での学習計画、履修相談		
・キャリアコンサルタントによる就職相談(履歴書添削、模擬面接等も含む)		
・本校教員(デザイナー)による個別面談(進路相談、学習相談も含む)		
・学費の支払いが困難な学生に対しての支払い計画、学費相談		

①学科等の情報 「モノづくり学科」(夜間部)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン 専門課程	モノづくり学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1700 単位時間 以上/単位	90 単位時間 /単位	1500 単位時間 /単位	1260 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2850 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		4人	0人	7人	46人	53人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要) 年間 35 単位分の授業 (850 時間以上) 基本週 6 日 授業開講時間 18:00~21:00 年間 48 週の授業期間 (休暇 4 週) 3 学期制 (前期・後期・進級・卒業制作期・学期 5 週×3 又は 2 クール制)					
成績評価の基準・方法					
(概要) 成績評価は、履修する科目に定める評価基準に基づき、その基準を満たした科目を合格とし単位付与する。					
■成績評価基準					
出席率	試験点数	成績 評価	GPAポイント (※2)	可否	判定内容
2/3 以上か つ各科目に 定められた 出席必要回 数	100~90 点	優	5 ポイント	合格 (単位 認定)	各科目に定める 3 つの 能力評価要素 (※1) の評 価 (100 点満点) を行い、 60 点以上を満たしまし た者に対して単位を認 定する。
	89~80 点	秀	4 ポイント		
	79~70 点	良	3 ポイント		
	69~60 点	可	2 ポイント		
	59~0	不可		不合格	
(※1) 能力評価要素「知識・認識力」「調査・分析力」「材料・用具使用力」「企画・構成力」「提案・説得力」					
卒業・進級の認定基準					
(概要) 本校の卒業判定は、各学科に定める所定の単位数を習得するとともに、各学科に定める「ディプロマ・ポリシー」に基づく能力を満たした者に対して卒業を認定します。					
1. 卒業認定基準 次の各号を満たした者に卒業を認め、別記様式による卒業証書を交付する (学則 16 条)					
(1) 本校の卒業生に相応しい者。					
(2) 以下 2 に定める所定の単位を取得した者。					
(3) 学費などの納付など学生としての義務を履行した者。					

<p>2. 当学科に定める卒業に必要な単位</p> <p>(1) モノづくり学科(夜間部)の学生の内、所定の方法で70単位以上(1,700時間以上の学修)の単位を取得した者。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>専門(業界・心理)キャリアカウンセラーによるカウンセリング。 学生達の諸問題(授業、学費、履修等)を相談窓口の設置。長期・連続欠席者への電話連絡面談。 障害者への個別支援対応など。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	1人 (50%)	1人 (50%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>インテリアデザイン事務所、プロダクトデザイン事務所、建築設計事務所、住宅設備メーカー、商品メーカー、イベント企画制作事務所、商環境設計事務所等、家具・エクステリアメーカー等</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>キャリアプログラム(学生個々の目指している企業への就職や、希望する業界・職種・仕事に就くためにナビゲートする就業支援の総合講座科目)を講師担任制の授業で実施。1年次は次年度の就職活動の準備段階(業界を知る・自分を知る)として、2年次は本格的な就職活動を実施していくための授業で構成しています。</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>職業実践専門課程、専門士、商業施設士補</p>			
<p>(備考)(任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学費、学習のモチベーションの低下、進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) ・通常授業のフォロー</p> <p>① 初回授業欠席者に対する連絡</p> <p>② 授業担当講師からの学生出席状況ヒアリング(朝礼・昼礼・夕礼時1日3回)</p> <p>③ 単位喪失者に対しての個別面談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の単位取得状況(習熟度)を考慮した上での学習計画、履修相談</li> <li>・キャリアコンサルタントによる就職相談(履歴書添削、模擬面接等も含む)</li> <li>・本校教員(デザイナー)による個別面談(進路相談、学習相談も含む)</li> <li>・学費の支払いが困難な学生に対しての支払い計画、学費相談</li> </ul>		

①学科等の情報 「ビジュアルデザイン学科」(夜間部)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン 専門課程	ビジュアルデザイン 学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1600 単位時間 以上/単位	90 単位時間 /単位	1260 単位時間 /単位	1020 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2370 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		23人	1人	7人	46人	53人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要) 年間 27 単位分の授業 (800 時間以上) 基本週 5 日 授業開講時間 18:00~21:00 年間 48 週の授業期間 (休暇 4 週) 3 学期制 (前期・後期・進級・卒業制作期・学期 5 週×3 又は 2 クール制)					
成績評価の基準・方法					
(概要) 成績評価は、履修する科目に定める評価基準に基づき、その基準を満たした科目を合格とし単位付与する。 ■成績評価基準					
出席率	試験点数	成績 評価	GPAポイント (※2)	合否	判定内容
2/3 以上か つ各科目に 定められた 出席必要回 数	100~90 点	優	5 ポイント	合格 (単位 認定)	各科目に定める 3 つの 能力評価要素 (※1) の評 価 (100 点満点) を行い、 60 点以上を満たしまし た者に対して単位を認 定する。
	89~80 点	秀	4 ポイント		
	79~70 点	良	3 ポイント		
	69~60 点	可	2 ポイント		
	59~0	不可		不合格	
(※1) 能力評価要素「知識・認識力」「調査・分析力」「材料・用具使用力」「企画・構成員」「提案・説得力」					
卒業・進級の認定基準					
(概要) 本校の卒業判定は、各学科に定める所定の単位数を習得するとともに、各学科に定める「ディプロマ・ポリシー」に基づく能力を満たした者に対して卒業を認定します。					
1. 卒業認定基準 次の各号を満たした者に卒業を認め、別記様式による卒業証書を交付する (学則 16 条)					
(1) 本校の卒業生に相応しい者。					
(2) 以下 2 に定める所定の単位を取得した者。					
(3) 学費などの納付など学生としての義務を履行した者。					

<p>2. 当学科に定める卒業に必要な単位</p> <p>(1) ビジュアルデザイン学科(夜間部)の学生の内、所定の方法で54単位以上(1,600時間以上の学修)の単位を取得した者。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>専門(業界・心理)キャリアカウンセラーによるカウンセリング。学生達の諸問題(授業、学費、履修等)を相談窓口の設置。長期・連続欠席者への電話連絡面談。障害者への個別支援対応など。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	1人 (9%)	10人 (91%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
<p>広告制作事務所、グラフィックデザイン事務所、WEB・映像制作会社、印刷・出版会社、商品開発会社、商業施設・イベント会社等</p>			
(就職指導内容)			
<p>キャリアプログラム(学生個々の目指している企業への就職や、希望する業界・職種・仕事に就くためにナビゲートする就業支援の総合講座科目)を講師担任制の授業で実施。1年次は次年度の就職活動の準備段階(業界を知る・自分を知る)として、2年次は本格的な就職活動を実施していくための授業で構成しています。</p>			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	7人	21.2%
(中途退学の主な理由)		
学費、学習のモチベーションの低下、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・通常授業のフォロー		
<p>① 初回授業欠席者に対する連絡</p> <p>② 授業担当講師からの学生出席状況ヒアリング(朝礼・昼礼・夕礼時1日3回)</p> <p>③ 単位喪失者に対しての個別面談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の単位取得状況(習熟度)を考慮した上での学習計画、履修相談</li> <li>・キャリアコンサルタントによる就職相談(履歴書添削、模擬面接等も含む)</li> <li>・本校教員(デザイナー)による個別面談(進路相談、学習相談も含む)</li> <li>・学費の支払いが困難な学生に対しての支払い計画、学費相談</li> </ul>		

①学科等の情報 「産業デザイン学科」(夜間部)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン 専門課程	産業デザイン学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1600 単位時間 以上/単位	90 単位時間 /単位	1320 単位時間 /単位	960 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2370 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		11人	0人	7人	46人	53人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要) 年間 27 単位分の授業 (800 時間以上) 基本週 5 日 授業開講時間 18:00~21:00 年間 48 週の授業期間 (休暇 4 週) 3 学期制 (前期・後期・進級・卒業制作期・学期 5 週×3 又は 2 クール制)					
成績評価の基準・方法					
(概要) 成績評価は、履修する科目に定める評価基準に基づき、その基準を満たした科目を合格とし単位付与する。					
■成績評価基準					
出席率	試験点数	成績 評価	GPAポイント (※2)	可否	判定内容
2/3 以上か つ各科目に 定められた 出席必要回 数	100~90 点	優	5 ポイント	合格 (単位 認定)	各科目に定める 3 つの 能力評価要素 (※1) の評 価 (100 点満点) を行い、 60 点以上を満たしまし た者に対して単位を認 定する。
	89~80 点	秀	4 ポイント		
	79~70 点	良	3 ポイント		
	69~60 点	可	2 ポイント		
	59~0	不可		不合格	
(※1) 能力評価要素「知識・認識力」「調査・分析力」「材料・用具使用力」「企画・構成力」「提案・説得力」					
卒業・進級の認定基準					
(概要) 本校の卒業判定は、各学科に定める所定の単位数を習得するとともに、各学科に定める「ディプロマ・ポリシー」に基づく能力を満たした者に対して卒業を認定します。					
1. 卒業認定基準					
次の各号を満たした者に卒業を認め、別記様式による卒業証書を交付する (学則 16 条)					
(1) 本校の卒業生に相応しい者。					
(2) 以下 2 に定める所定の単位を取得した者。					
(3) 学費などの納付など学生としての義務を履行した者。					

2. 当学科に定める卒業に必要な単位 (1) 産業デザイン学科(夜間部)の学生の内、所定の方法で54単位以上(1,600時間以上の学修)の単位を取得した者。
学修支援等
(概要) 専門(業界・心理)キャリアカウンセラーによるカウンセリング。学生達の諸問題(授業、学費、履修等)を相談窓口の設置。長期・連続欠席者への電話連絡面談。障害者への個別支援対応など。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	3人 (60%)	2人 (40%)
(主な就職、業界等) インテリアデザイン事務所、プロダクトデザイン事務所、建築設計事務所、住宅設備メーカー、商品メーカー、イベント企画制作事務所、商環境設計事務所等、家具・エクステリアメーカー等			
(就職指導内容) キャリアプログラム(学生個々の目指している企業への就職や、希望する業界・職種・仕事に就くためにナビゲートする就業支援の総合講座科目)を講師担任制の授業で実施。1年次は次年度の就職活動の準備段階(業界を知る・自分を知る)として、2年次は本格的な就職活動を実施していくための授業で構成しています。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	4人	21%
(中途退学の主な理由) 学費、学習のモチベーションの低下、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・通常授業のフォロー ① 初回授業欠席者に対する連絡 ② 授業担当講師からの学生出席状況ヒアリング(朝礼・昼礼・夕礼時1日3回) ③ 単位喪失者に対しての個別面談の実施 ・学生の単位取得状況(習熟度)を考慮した上での学習計画、履修相談 ・キャリアコンサルタントによる就職相談(履歴書添削、模擬面接等も含む) ・本校教員(デザイナー)による個別面談(進路相談、学習相談も含む) ・学費の支払いが困難な学生に対しての支払い計画、学費相談		



②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載 事項)
コトづくり学科 (昼間部)	120,000 円	720,000 円	504,000 円	
モノづくり学科 (昼間部)	120,000 円	720,000 円	504,000 円	
ビジュアルデザイン学科 (昼間部)	120,000 円	540,000 円	384,000 円	
産業デザイン学科 (昼間部)	120,000 円	540,000 円	384,000 円	
ビジュアルデザイン学科 (夜間部)	120,000 円	360,000 円	264,000 円	
産業デザイン学科 (夜間部)	120,000 円	360,000 円	264,000 円	
コトづくり学科 (夜間部)	120,000 円	540,000 円	264,000 円	
モノづくり学科 (夜間部)	120,000 円	540,000 円	264,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
<p>本校独自の奨学金制度            勉強意欲がありながら、経済的理由により進学に困難がある受験生を対象に「奨学給付金」制度を設けています。6万円以内(選考により3区分) 又、授業料の分割納付</p>				

b) 学校評価

<p>自己評価結果の公表方法          (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)          情報公開ページにて「学校自己評価」を公開          【情報公開 URL】 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/">https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/</a>          URL： 学校自己評価  <a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/jikohyouka.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/jikohyouka.pdf</a></p>
<p>学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)          学校関係者評価の基本方針</p> <p>複雑化しつづける世の中の変化に合わせ、学校に求められることは変化してきます。この変化に対応していく為に、即時性を高めるオンデマンドでシームレスな取り組みで実施すること又、ニーズ・シーズ把握のみならず、学識・知見の有識者により先見のなテーマを先取りし、それらを学校運営や教科課程に落とし込み、その実践によって得る客観的な評価をフィードバックする好循環型のシステムを確立することが重要です。この様なサイクルを好循環させ、事務・業務の効率的な標準化による教育サービスの品質向上、及び均質性を担保すること、並びに継続的な教育サービスの開発に資することを目的として学校関係者評価を実施します。又、第三者評価の機能としてISO29993 導入するほか、次の通りとする。</p> <p>① 自己評価について          自己評価は、本校の理念・目標に照らし、自らの教育活動等の学校運営の状況「学校設定の評価項目」及び外部アンケート結果を踏まえ、学校長及び学校長指定教員、関連部署の役職員によって年1回の評価を実施し、学校長がまとめる。</p> <p>② 学校関係者評価について          学校関係者評価は、以下の委員で構成される「学校関係者評価委員会」において、「自己評価」結果についての 評価を年1回実施し、学校関係者評価委員会事務局が集約しまとめる。</p> <p>《構成員》 8名以上で構成する          1) 学校関係者評価委員会 会長 … 学校長が指定する第三者          2) 企業等委員 … 産学連携・企業実習引受先ビジュアルデザイン系実施企業等の役職員 (2名)          3) 企業等委員 … 産学連携・企業実習引受先産業デザイン系実施企業等の役職員 (2名)          4) 卒業生等委員 … 卒業生ビジュアルデザイン系企業等の従事者          5) 卒業生等委員 … 卒業生産業デザイン系企業等の従事者          6) 事務局 … 学校法人創造社学園 職員</p> <p>③ 評価結果の活用について          自己評価及び学校関係者評価の成果物の【学校自己評価報告書】【学校関係者評価委員・意見集約結果報告書】は、学校運営の自らの改革・改善目標の指標とする他、「教科改定編成編成委員会・作業部会」においての教科課程編成に関連する目標・改善事項に活用する。</p> <p>④ 評価結果の公表について          本校ホームページにて公開します。(毎月7月)</p>

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社エスピーアイティ 代表取締役 岡 哲也	1年 R5. 4. 1～R6. 3. 31 (任期更新)	会長・企業等委員
有限会社サン・デザイン・プロダクツ 代表取締役 杉山 陽二	1年 R5. 4. 1～R6. 3. 31 (任期更新)	企業等委員 (S系)
スタジオミーツ 代表 松田 祥宏	1年 R5. 4. 1～R6. 3. 31 (任期更新)	企業等委員 (V系)
株式会社 登プリント 上田 寛	1年 R5. 4. 1～R6. 3. 31 (任期更新)	企業等委員 (V系)
デライトラボ 代表 金指 博文	1年 R5. 4. 1～R6. 3. 31 (任期更新)	企業等委員 (S系)
株式会社 エレファントグラフィックス 代表取締役 北野 ちあき	1年 R5. 4. 1～R6. 3. 31 (任期更新)	卒業生 (V系)
ダフィ・デザイン 代表 川畑 大助	1年 R5. 4. 1～R6. 3. 31 (任期更新)	卒業生 (S系)
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<p>情報公開ページにて「学校関係者評価」を公開 【情報公開 URL】 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/">https://www.sozosha.ac.jp/school/disclosure/</a></p> <p>URL：学校関係者評価 <a href="https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/gakkoukankeihayouka.pdf">https://www.sozosha.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/07/gakkoukankeihayouka.pdf</a></p>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>ホームページ (メイン) URL : <a href="https://www.sozosha.ac.jp/">https://www.sozosha.ac.jp/</a></p>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H127310000451
学校名	創造社デザイン専門学校
設置者名	学校法人 創造社学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		-	-	-
内 訳	第Ⅰ区分	-	-	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				-
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		-	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		-	0人
「警告」の区分に連続して該当		-	0人
計		-	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）				
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		0人	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	-
計		0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。